

## はじめに

ナノローバー用 描画サンプルアプリ「nanoRoverDraw」(以降「本ソフトウェア」と記述)は、アプリ上に手書きした線画・図形をナノローバーの走行経路に変換して転送し、紙に描画させるソフトウェアです。

## 動作環境

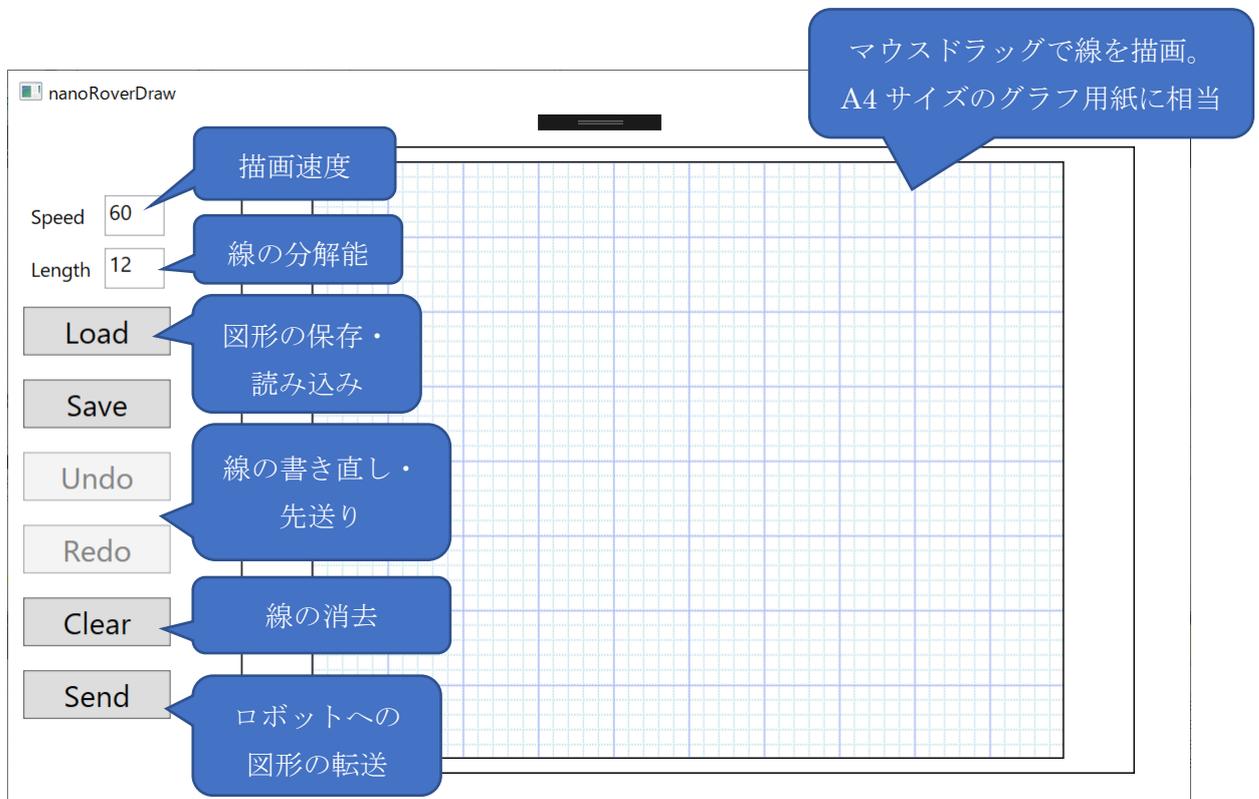
- ・ Windows7 以降
- ・ .Net Framework 4.5.2 以降

ナノローバーは、出荷時のファームウェア(nanoRoverMath 用)が書き込まれた状態にしてください。別のプログラムに書き換えられている場合は、ナノローバーの説明書を参考に、出荷時のファームウェアに戻してからお使いください。

## 実行方法

Web ページよりダウンロードした zip ファイルを任意のフォルダに展開し、nanoRoverDraw.exe を実行してください。

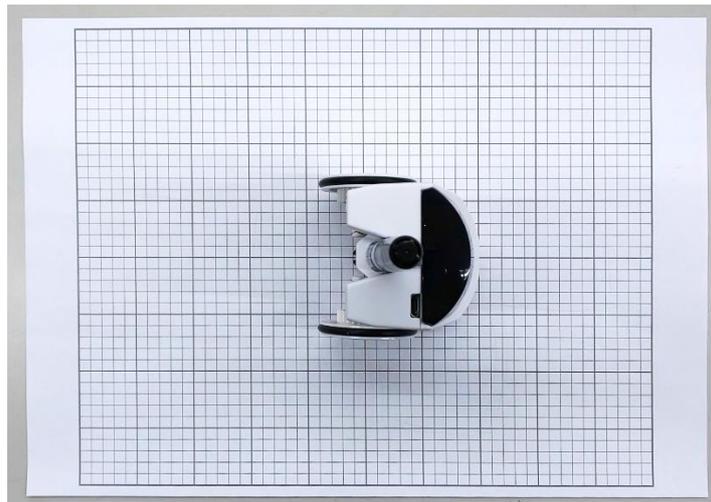
## 画面説明



「線の分解能」は、マウスドラッグの軌跡を線画に変換する際、どの程度の距離ごとに線分に変換するかを表します。数値を小さくするほど軌跡を忠実に線画に変換しますが、走行データの量が増えるため、線の少ない図形でも描画できない場合があります。

## 書き込み・実行手順

図形を描画し終わったら、ナノローバーを PC に接続して Send ボタンをクリックしてください。クリックするとナノローバーへ走行データの転送を開始し、進捗を画面左下に表示します。データを転送し終わったら、ナノローバーを PC から取り外し、下図のように横向きの A4 用紙の中央に、前方を右方向に向けて置いてください。



描画が完了すると、位置によっては用紙の端の方に自動的に走行して描画を終了します。また、用紙の端まで書かれた図形の場合、描画中に用紙をはみ出して走行する場合があります。これらの際に転落などが発生しないように、動作場所にご注意ください。

## 注意事項

- ・ 転送後に表示される描画時間は参考です。実際の描画とある程度の差異があります。
- ・ 図形の線が多すぎると、ナノローバー本体が記録可能な走行データを超過してしまい、書き込んでも動作しない場合があります。
- ・ 開始時の配置及び複雑な曲線や鋭角なカーブが多いと、描画結果が大きくずれる場合があります。